



年 頭 所 感

一般社団法人 青森県薬剤師会
会長 木村 隆次

県民の皆様

新年明けましておめでとうございます。

本年も薬剤師会活動のご理解とご支援よろしくお願い致します。

さて青森県内の薬局での処方せん受取り率は、全国トップ 10 に入っています。しかし県内の薬剤師の数は、人口 10 万人あたりで沖縄県に次いで 2 番目に少ないのです。また、県内でも西北五、下北医療圏域が特に少ない状況です。薬局及び病院での薬剤師の仕事が過重になっている現状があります。これを解消するため今年も、青森県と青森大学薬学部と連携しながら中学生、高校 1 年 2 年生から薬剤師を志望するための活動、また県外で働いている薬剤師の U ターン J ターン I ターンを促す活動をして参ります。

また、県民の平均寿命ですが一昨年 12 月に厚生労働省が 5 年ごとに発表している都道府県別生命表で男性が 78, 67 歳、女性が 85, 93 歳男女とも全国最下位でした。これは 1995 年から 5 回連続です。私は、早く最下位から脱出したいと強く願っております。

平成 28 年の主な死因別の死亡状況は

1 位 悪性新生物（全国 2 位） 2 位 心疾患 3 位 肺炎（全国 5 位）、4 位 脳血管障害（全国 9 位） 5 位 老衰 6 位 不慮の事故 7 位 腎不全（全国 3 位） 8 位 自殺（全国 5 位） 9 位 糖尿病（全国 1 位） 10 位 肝疾患（全国 4 位）

この死因疾患にならないための予防、早期発見、早期治療、疾患の重症化予防が大変重要です。

これらの対策で当会は、「健康介護まちかど相談薬局」事業を青森県「まちかどセルフチェック」事業として展開しております。この事業の参加薬局は、[当会ホームページ](#)でご確認ください。

具体的には、以下のことを健康介護まちかど相談薬局で行っております。

- 1, がんの原因になる喫煙をやめさせるための禁煙サポートをします。
- 2, 脳血管障害、心疾患予防のため「血圧測定」の正しい計り方と管理の啓発、基準より高めの方を医療機関に紹介します。
- 3, 自殺対策に薬剤師がゲートキーパーとしてこころの悩み相談をしています。
- 4, 認知症の早期発見のため「脳の健康チェックリスト」を実施して問題があればお住

まいの担当地域包括支援センターに連絡します。

- 5, 高齢者の方の老いのチェックのため厚生労働省が作成した「基本チェックリスト」を実施して問題があればお住まいの担当地域包括支援センターに連絡します。

また、今年、[通院困難な方への薬剤師の訪問指導の強化](#)、さらには、青森県の課題として重要視されている糖尿病対策に力を入れたいと考えております。糖尿病を発症させない、糖尿病の早期発見、糖尿病になっても重症化させない取り組みです

これらの薬剤師の役割、薬剤師会の事業は、第7次青森県保健医療計画、青森県健康増進計画（健康あおもり21）、あおもり高齢者すこやか自立プラン2018（青森県老人福祉計画・青森県介護保険事業支援計画）、青森県医療費適正化計画、青森県障害福祉計画、青森県国民健康保険運営方針等に位置づけられております。

最後になりますが、今年1年、青森県民の健康寿命延伸、お一人おひとりの健康づくり支援のためヘルスリテラシー「(健やか力)」＝「**健康情報や医療情報を適切に利用し、活用する力**」アップのため会員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。